

平成28年12月22日

総合研究大学院大学 学融合推進センター 萌芽的研究会  
「分野融合研究の駆動力となる定量的アプローチの研究会」  
開催報告

1. 参加者、開催場所

第1回(8/30):19名、第2回(12/1):15名 @ 城山トラストタワー(神谷町)

2. 議論の概要

2016年8月30日(火)・12月1日(木)に学融合推進センター萌芽的研究会開催支援事業として、「分野融合研究の駆動力となる定量的アプローチの研究会」を開催した。この研究会は日本における研究IRの学術的な裏付けを確立するため、また、定量的アプローチを活用することにより分野融合研究の成功要因を追及し、新分野を創出する駆動力とすることを最終的な目的とする。その過程として、分野連携・横断的な研究、および、それら研究を推進する研究者の状況の可視化を定量的にアプローチする。背景として、日本においてもIR (Institutional Research) が各大学等研究機関で開始されていることが挙げられる。アメリカでは20年前から開始され定着しているが、日本においては黎明期である。IRの学術的な背景としては、経営学、知識科学、教育学、教育心理学、定量的調査手法・評価手法、情報学等、文理に跨った広範な学問分野に渡るが、学問的裏付けは確立していない。特に、大学院大学で必須である研究IRにおいては、成果の把握に長期的な視点が必要になるという事情もあり、今後研究が必要な分野として認識されている。

これらを踏まえ、研究会では以下を行い、各研究機関、他大学での取り組みを学び、また、今後の研究の方針および発展について議論を行った。

第1回研究会:

- ・日本におけるIRの最先端事例の紹介

大正大学 学長補佐(質保証推進担当)IR・EMセンター長および山形大学 EM部 教授  
福島真司先生

- ・分野融合的な新学術領域の端緒を提供する研究

国立情報学研究所 教授 武田英明先生

- ・CERN-NII-KEK の協同による高エネルギー物理学分野のデータベースに関して

高エネルギー加速器研究機構 准教授 菊谷英司先生

第2回研究会:

- ・人文系学問の研究成果特性と評価指標策定の試み—人文機構の研究成果を事例として—

人間文化研究機構 特任助教 木村自先生

### 3. 今後の展望

参加者より、今後の研究展望のために、平成29年度の国立情報学研究所 共同研究公募への申請を出すことで合意を得た。また、次回研究会においては、科学技術政策の方針を理解するために、科学技術・学術政策研究所より講演者を招聘したいとの要望が出た。さらに、これまで仮であった研究会の名称を「分野横断的研究の可視化研究会(Workshop for Visualization of Interdisciplinary Studies)」と定め、方向性を明確化した。

### 4. 参加者 (順不同)

第1回:

大畠 昭子	宇宙科学研究所 特任准教授
壁谷 如洋	自然科学研究機構 企画連携課専門員
木村 自	人間文化研究機構 特任助教
齋藤 憲一郎	東京農工大学先端産学連携研究推進センター 特任講師
高橋 啓	長崎大学経済学部准教授 統計数理研究所(統計思考院客員准教授)
野田 好人	自然科学研究機構 機構企画連携課長
樋田 光	高エネルギー加速器研究機構 KEK研究支援戦略推進部 URA
福島 真司	大正大学学長補佐(質保証推進担当)IR・EMセンター長&山形大学EM部教授
横尾 成子	情報・システム研究機構 URA
菊谷 英司	高エネルギー加速器研究機構 KEK 評価・調査室 准教授
菊池 浩平	総研大 助教
小松 睦美	総研大 助教
七田 麻美子	総研大 特任准教授
島谷 健一郎	総研大・統計科学専攻 准教授
武田 英明	国立情報学研究所 教授
永山 國昭	総研大 IR担当 理事
西中 美和	総研大 特任准教授
柳生 修二	総研大 図書館 副館長
横山 雅之	総研大・核融合科学専攻 教授

第2回:

齋藤憲一郎	東京農工大学先端産学連携研究推進センター
清家 弘史	東北大学 研究推進本部 URAセンター 特任准教授
大畠 昭子	宇宙科学研究所 特任准教授
木村 自	人間文化研究機構 特任助教
高橋 啓	長崎大学経済学部准教授 統計数理研究所(統計思考院客員准教授)
樋田 光	高エネルギー加速器研究機構 KEK研究支援戦略推進部 URA

横尾 成子	情報・システム研究機構 URA
菊谷 英司	高エネルギー加速器研究機構 KEK 評価・調査室 准教授
七田 麻美子	総研大 特任准教授
内川 明佳	総研大 助教
島谷 健一郎	総研大・統計科学専攻 准教授
武田 英明	国立情報学研究所 教授
永山 國昭	総研大 IR担当 理事
西中 美和	総研大 特任准教授
柳生 修二	総研大 図書館 副館長

以上